



▲中学校の授業風景を小学生が覗いています

### ラオスの子どもたちとの交流

村から持参した絵本をラオスドンニャイ中学校の生徒に贈りました。ラオスでも英語の授業を行っています。子どもたちは慣れない英語で精一杯読み上げてくれました。絵本を手にした子どもたちはとてもうれしそうでした。



▲中学校の授業の様子



▲ドンニャイ村で行った読み聞かせ会。めずらしい絵本に興味深々のラオスの子どもたち



▲村の中学生が翻訳した絵本をドンニャイ村の中学生に手渡しました

## ラオス交流事業と絵本リレー事業のコラボレーション

飯館村がラオスとの交流を始めて2年目に入りました。全国から寄せられた基金で進められているドンニャイ中学校の学校づくりも順調に進み、9月頃には完成する予定です。

1月下旬には、絵本リレー事業で寄贈された英語の絵本と飯館中学校の生徒が翻訳した絵本40冊をドンニャイ中学校に寄贈し喜ばれました。まさに、ラオス交流事業と絵本リレー事業のコラボレーションです。

「までい」は「物を大切にすること、心を込めること、つつましく暮らすこと」等の意味です。「自分だけでなく他人の幸せも願う心」でもあります。飯館中生の取り組みは、「までいの心」を踏まえたすばらしい取り組みだと思っています。

(教育長 廣瀬 要人)

## 1/29 ~ 2/3 村職員がラオスを視察研修

村では子どもたちにラオスを通して世界を見てほしいという願いから、ラオス交流事業を一昨年からは展開しています。

今回、村教育委員会では、ドンニャイ中学校の学校建設の進捗状況を確認するため、現地に職員を派遣しました(学校づくり支援)。

また、教育委員会では飯館中学校の生徒が翻訳した絵本と、絵本リレー事業に寄せられた英語の絵本40冊をドンニャイ中学校に届けました(文化交流)。



▲村が支援し建設中のドンニャイ中学校

### ラオスでの中学校建設進捗状況

新しい学校は、壁はレンガ造り、基礎もしっかりしていて柱も木材とコンクリート支柱を組み合わせた頑丈な作りになっています。屋根も大方できていて、全体の完成度は50坪から60坪といったところでした。

## 子育て相談室 — お気軽にご相談ください —

### 母親の愛 その5

母親には明確に二つの姿があります。厳母と慈母の姿です。具体的に、厳母とは、忍耐強さ(がまん強さ、見守る力)、倫理性(正邪善悪の正しい判断)、使命感(工夫して美味しく料理をつくる意思と実践、健康管理)、奉仕の精神と実践力(家族はもちろん他人のためにも役立つ行動)などを意味します。

また、慈母とは、慈悲(無条件の受容、わが子を真剣に助ける態度、思いやり)、やさしさ(あたたかい微笑や眼差し、親身な言葉)、包容力(母親ならではのぬくもり、におい)、優雅さ(化粧、身だしなみ、衣服の着こなし、正しい礼儀作法)などを言うようです。これらは、本能ではなく、子どもを育てながら努力して身につけていく人間としての財産です。

子育てのねらいは、わが子を人間的にも学力的にも、そして経済的にも親を乗り越える人間に育てることにあります。従って、子育てはつねに理想を目指して真剣にあらゆる努力をするのが親のつとめです。そのためにこれまでの「母親の愛」の記述が飯館村の母親の皆様のお役に立つことができればうれしく思います。

飯館中学校スクールカウンセラー

海野 和夫

社団法人国民保健会主任研究員

学校心理士・家族心理士

臨床心理士

○教育相談は飯館中学校(☎42-0008)へ電話でお申込みください。